

平成31(2019)年度 江戸川区立南小岩第二小学校 学校関係者評価 中間評価用報告書

<p>学校教育目標</p>	<p>○ 考える子 ○ 思いやりのある子 ○ 健康な子</p>	<p>目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像</p>	<p>○「温かい心(敬愛・思いやり・感謝)」「確かな学力」「地域への貢献性」を育てる学校 ○よく聞いて、見て、話し合って、体験を生かして考える子。互いに助け合い、人、物、自然を大切にするとする子。心身ともにたくましく、めあてをもってねばり強くやりとげる子。 ○子供を育む信念をもつ教職員。児童・保護者・地域の人々、社会、自然とのかかわりの中で、様々な課題に気付く教職員。課題を解決するために、主体的に考え、新たな発想を生み出すことのできる教職員。考えや発想を適時に実践に移すとともに、自己評価を適切に行い研鑽する教職員。</p>
<p>前年度までの学校経営上の成果と課題</p>		<p><成果>校内研究による「書く力」の向上。体験的活動、図書館活用の推進。児童の運動意欲の向上。算数科習熟度別指導の継続による基礎学力の向上。学校の安全管理体制の強化。 <課題>挨拶運動の推進による、挨拶意識の一層の向上。各教科における基礎基本の定着。特別支援教育の一層の促進、保護者への周知、PR。</p>	

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価		年度末に向けた改善策	
					取組	成果	成果と課題	評価		コメント
特色ある教育の展開	①小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	教員、児童、地域との交流毎学期実施・食育を柱にした連携、毎学期実施	全教職員、第6学年全員が参加・交流、保護者への周知70%以上	B	B	計画通り進行中。課題は教科間での連携。	B	食育を中心にした連携を毎学期実現してほしい。	来年度の計画を作成していく。
	②体験的活動の推進	縦割り版活動、高齢者とのふれあい、ボランティア活動の推進、鼓笛隊の実施、外部人材の活用	縦割り版活動毎月、外部人材活用・高齢者との交流年1回以上、清掃朝会毎月、鼓笛隊高学年全員参加。	実施率100% 保護者満足度85%	A	A	各体験活動の実施計画を作成することで継続的な指導を実施。	A	いろいろな体験活動を実施していてもよいと思う。	実施計画のまとめをする。
	③あいさつ運動の推進	あいさつ運動の取り組みを通じた、言語環境の整備及び思いやりの心の育成	あいさつ運動(あいさつ名人)の全校年間実施	挨拶実施の意識児童80%以上、保護者満足度80%以上	A	B	あいさつ名人進行中。	B	児童の意識がもっと高くなると良いと思う。	あいさつ名人の継続。
教員の資質向上	④教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	教員研修毎学期実施。デジタル教科書、電子黒板等を毎日活用	実施率全教員100% 保護者満足度80%以上	A	A	各教科での活用が定着。課題は、タブレットの使い方。	B	デジタル教科書や電子黒板の使い方が大いなる活用を願う。	タブレットの使い方について研修する。
	⑤特別支援教育の推進	校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実	特別支援関連研修年3回以上実施、全学級での個別指導の充実	特別支援研修会全員参加 関係保護者満足度85%以上	A	B	研修会を2回実施。学びのユニバーサルデザインの理解浸透。	A	特別支援の重要性を感じる。	QUの活用についての研修会の実施。
	⑥校内研修の活性化	授業観察、校内研究、若手研修、伝達研修等による教職員の授業力の向上	全教職員による研究授業、若手研修受講又は指導全員、伝達研修の実施	教職員実施率100% 保護者満足度90%以上	A	A	主任教諭以上の教員が年間を通して、研修会を実施している。	A	各先生方の努力に期待するとともに感謝している。	研修会の継続。
いきいきと学ぶ教育の充実	⑦確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習等による指導の充実と授業力の向上	補習実施各学級年35回以上、プランに基づく授業改善	補習実施率100% 保護者満足度85%以上	A	B	スッキリタイムという名称で計画に基づき各学級で補習を実施。	A	補習の重要性を感じる。	年度当初の予定通りに年間を通じて実施する。
	⑧読書力の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実	読書朝、朝読書週2回、読書週間年2回、目的読書及び探求的活動の推進	実施率100% 保護者満足度95%以上	A	A	校内研修会での国語の授業研究を生かし、日常的に読書活動を進行	A	回数も大切だが、内容の充実を望む。	成果と課題を明らかにすること。
	⑨体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	二小タイム10分間運動毎週、外遊びの奨励年間、10月から持久走、大縄大会の継続練習	実施率100% 保護者満足度90%以上	A	B	体力テストの分析を基に体育部から二小タイムの改善を提案予定。	A	二小タイム10分間の確実な実行を願う。	年間を通じた体育的活動を継続させる。
	⑩オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	全学級でのオリパラ教育、毎学期実施 外部講師の活用、年2回	各学級で完全実施 保護者への周知75%以上	A	B	「夢未来プロジェクト」として、パラリンピアンを6月に招集。	A	オリパラの指導を家庭にも共有できるとよい。	伝統文化的な外部講師の活用。
	⑪外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	EnglishRoomの整備、教材の充実、教員の授業力の向上及びALTとの効果的な連携	保護者の満足度80% 学校関係者評価A	B	B	ALTとの連携の充実。	A	ALTに依存せずアドバイスを受けるようにすることが大切。	イングリッシュルームの活用。
	⑫基礎基本の徹底	ベーシックドリル・eライブラリアドバンス等を活用した基礎基本の徹底、保護者との連携、	ベーシックドリル毎学期実施、二小スタンダードの徹底、基礎タイムの実施、家庭学習習慣の確立、	全学級での実施率100% 保護者満足度90%以上	B	B	4月に二小スタンダードを新たに作成。共通認識の強化を図る。	A	二小スタンダードの強化を願う。	二小スタンダードの継続と改善。
相談体制健全育成の充実	⑬いじめ・不登校等の対応	いじめ・不登校に応じた未然防止と早期対応に関する対応の充実	変化を把握した時点でその即時情報共有、生活指導連絡会毎週(金)、いじめ防止授業・SNS東京ルール毎学期実施、	共有率100% 当該保護者満足度90%以上	A	B	情報収集とともに支援センター等への通報・連携といった即対応。	A	即時情報を共有しているところはとよい。	保護者への啓発。
	⑭いじめ・不登校等の対応	スクールカウンセラー等との連携による相談体制の充実	必要に応じた対策委員会の即時実施、第5学年児童全員面接の実施	事実把握後、速やかに対応策を検討、1週間以内に行動、全員面接実施1学期中	A	B	必要に応じ、委員会の即時実施と第5学年の全員面接実施。	A	一週間以内に行動と期限を具体的に決めているのはよい。	ひとつの事案を3日以内で収束させていく。
	⑮道徳教育の推進	全教育活動に位置付けた道徳教育の推進 道徳授業地区公開講座での啓発	道徳教育計画に基づく完全実施、全学級授業公開・特別の教科道徳の確実な実施、全学級	実施率100% 道徳教育に関する保護者満足度85%以上	B	B	年間計画に基づいた教科としての道徳の授業の充実。	A	道徳教育に対する保護者の反応はどうか。問題点を明確に	議論する道徳を引き続き進める。
その他	⑯安心安全な学校づくり	危機管理マニュアル(災害、けが、アレルギー等)に基づく全職員の協力体制、校内危険箇所への速やかな対応、	毎月各種訓練の実施、毎月安全点検に基づく修理、玄関等の施設徹底、週ごとの指導計画への安全管理の記載100%	実施率100% 保護者満足度90%以上 学校関係者評価A	A	B	毎月の安全点検の確実な実施。一人一人の意識改革。	A	学校での安全確認の他、通学路での注意力を付けさせるように。	登下校の歩き方指導。
	⑰地域との共有・協働	PTA活動、地域行事への積極的な参加、HP等による情報公開・学校公開の推進、学校応援団との連携	全教員1回以上参加・協力、HPの更新毎週、学校公開毎学期、学校応援団との連携毎学期	保護者満足度90%以上 学校関係者評価A	A	B	学校応援団との連携の下、学校図書館の整備を進行中。	B	地域の人たちとの交流の大切さを子供たちに知ってもらいたい。	学校図書館の整備の継続。
	⑱働き方改革組織力の向上	C4hの積極的な活用、学校予算の計画的執行、文書起案・ラインによる進行管理の徹底、週ごとの指導計画に基づく教育活動	会議時間の短縮・効率化、予算の年内執行、文書起案完全実施、週ごとの指導計画毎週全員提出	保護者評価90%以上 学校関係者評価A	A	A	働き方改革実施中。	A	会議や協議を短くして、効率化を願う。	残業時間の減少。